

卵内雌雄鑑別の現状と導入効果

2026年09月02日

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

経営戦略統括本部 事業推進本部 革新領域事業推進室

チーフDXコンサルタント **小澤 佳子**

みなさん、今日、卵を食べましたか？



日本人は1人当たり

年間340個、一生で28,000個

食べています。



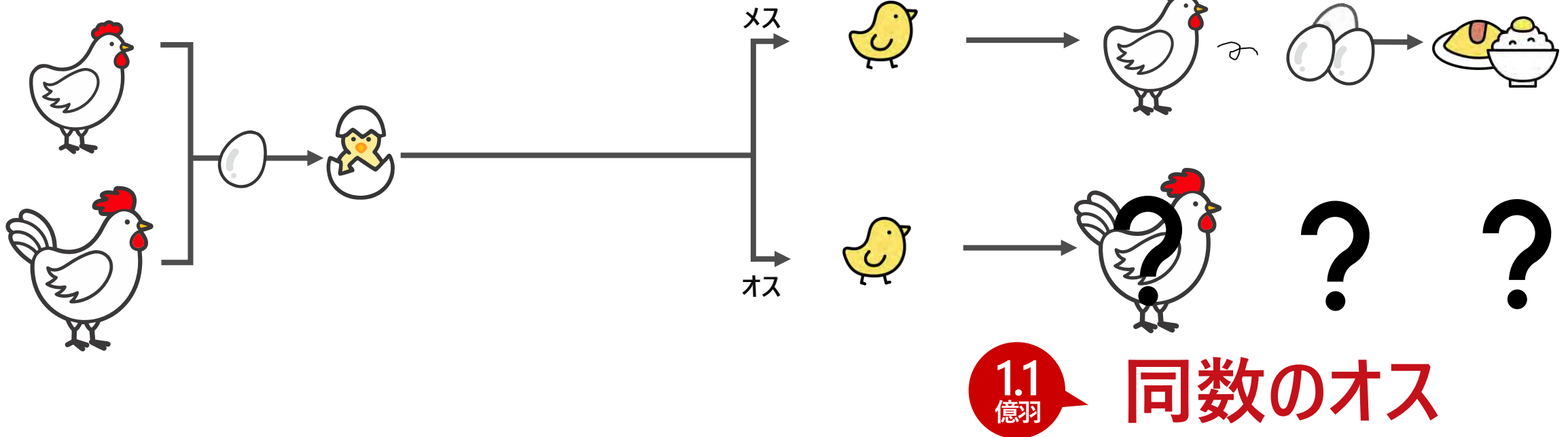
参考：2022年日本人1人あたりの年間鶏卵消費量(国際鶏卵委員会)

1. 卵を食べるまでに

<なにが起きているのか>

HITACHI

日本人が1人当たり年間340個(日本で408億個)の卵を食べるためには

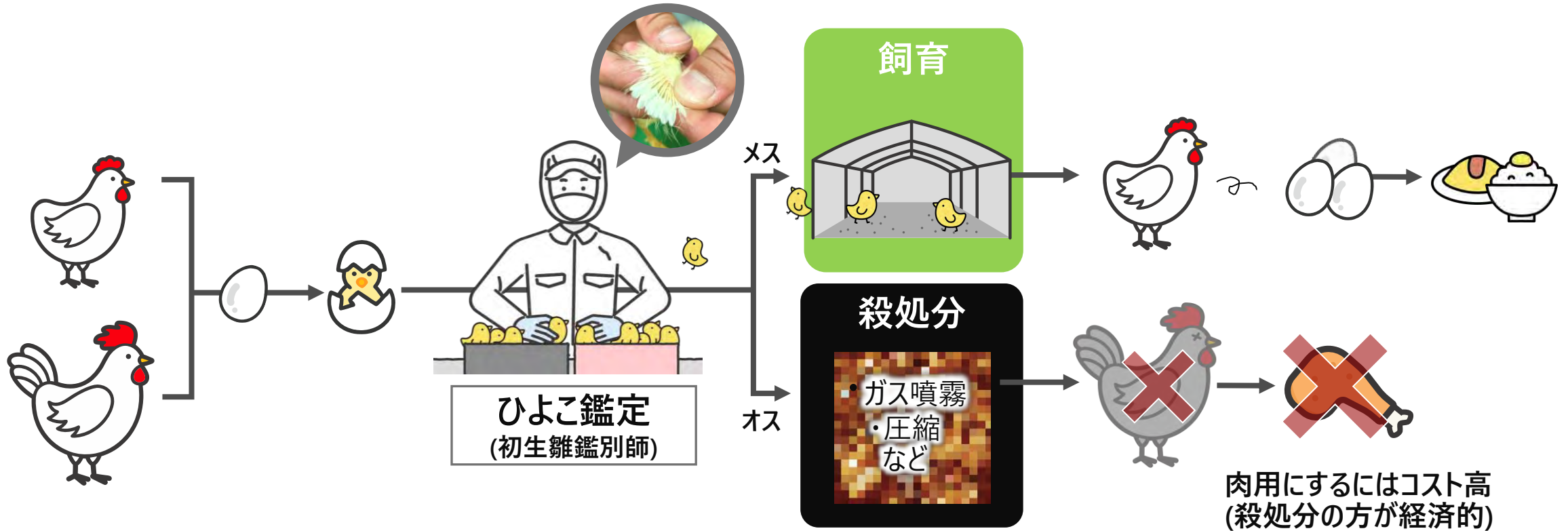


私たちに卵を供給できないオスはどうなっているのだろう？

1. 卵を食べるまでに

< 処分されるオスのひよこ >

HITACHI

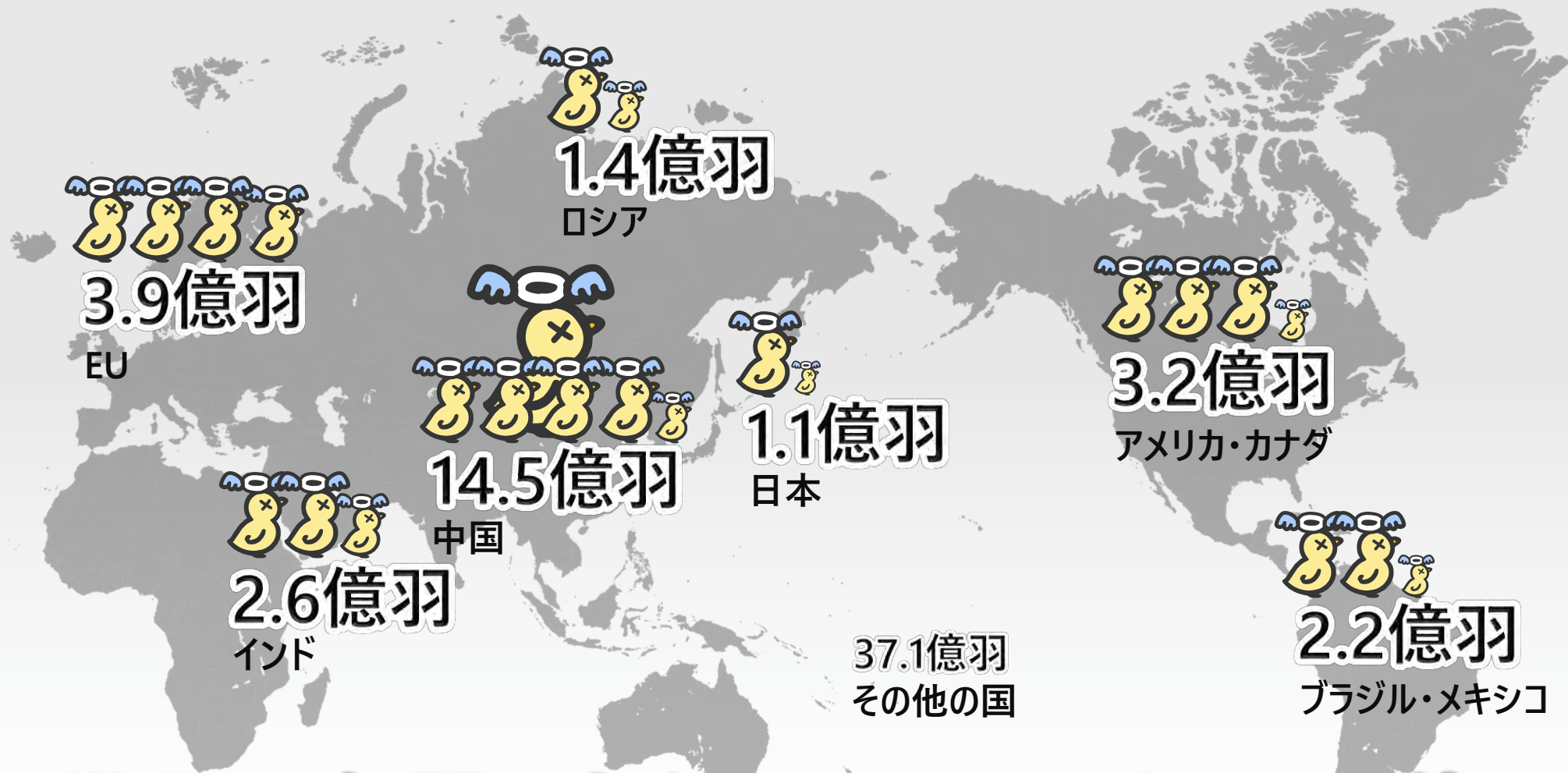


オスは生後一日目に殺処分される
その数は日本だけで**1.1億羽**

1. 卵を食べるまでに

< 処分されるオスのひよこ >

HITACHI



世界で1年間に生まれるオスのひよこは66億羽

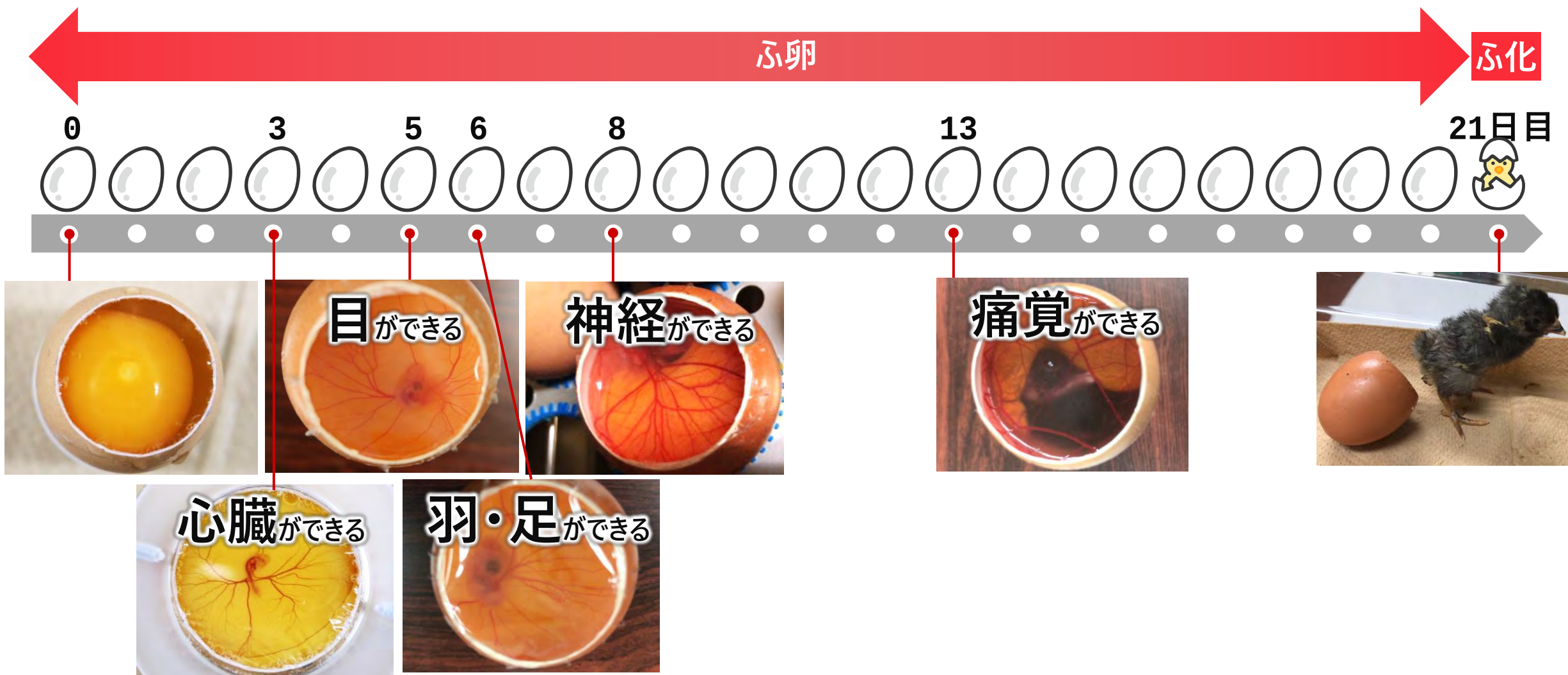
殺処分数は公式統計はとられておらず、飼養羽数・ひな餌付け羽数より推定値

参考：主要国の採卵鶏飼養羽数・ひな餌付け羽数(2019年)(鶏鳴新聞社作成)(<https://www.jz-tamago.co.jp/business/news/k00018372/>)

1. 卵を食べるまでに

< 卵の成長 >

HITACHI

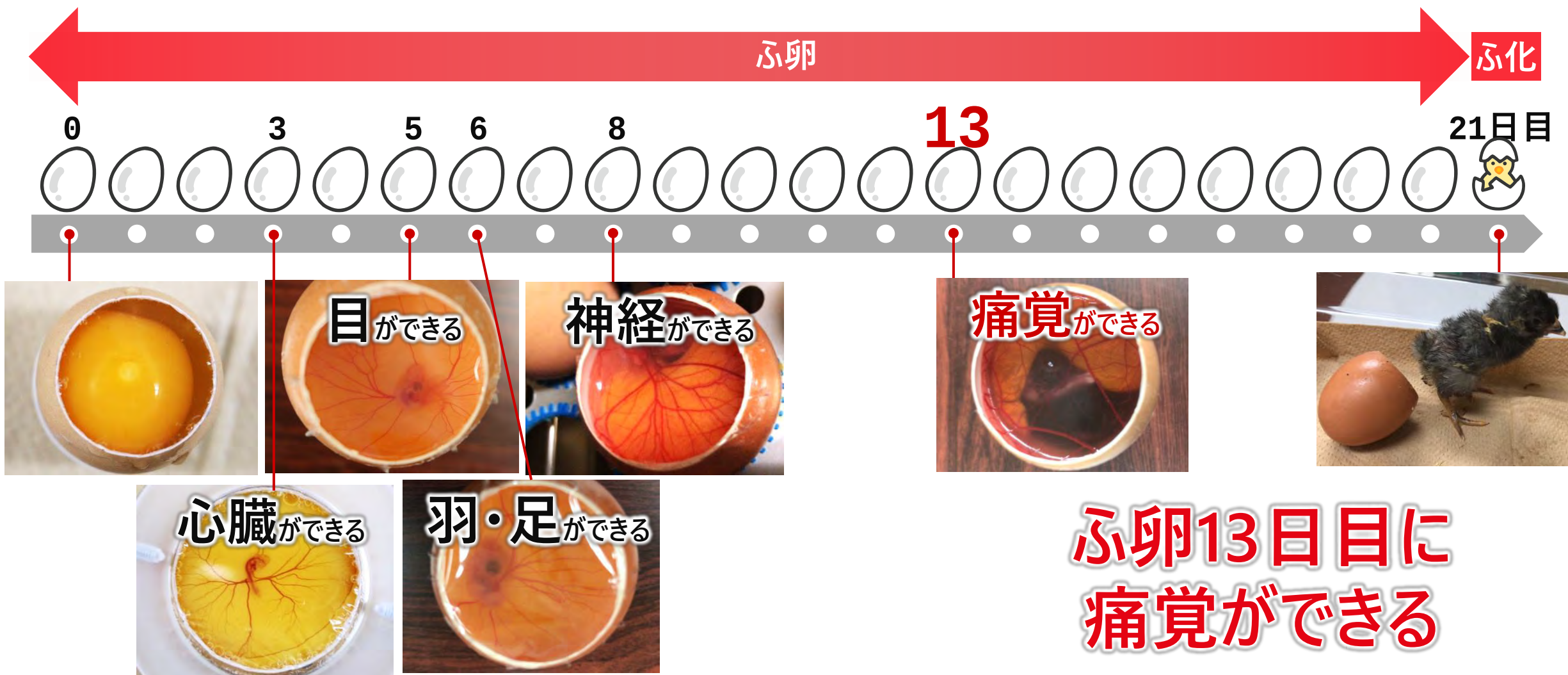


胚発生写真の出典：農研機構 畜産研究部門

1. 卵を食べるまでに

< 卵の成長 >

HITACHI



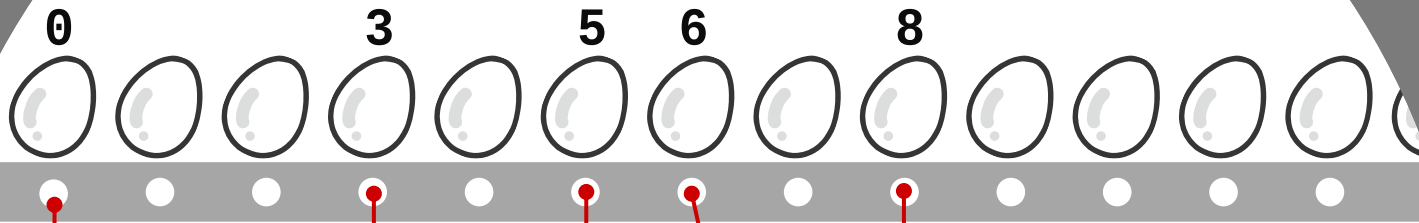
胚発生写真の出典：農研機構 畜産研究部門

1. 卵を食べるまでに

< 卵の成長 >

HITACHI

ふ卵



アニマルウェルフェア

家畜を快適な環境下で飼養することで、
家畜のストレスや疾病を減らし、
生産性の向上・安全な畜産物の
生産につなげる



オス処分の容認ラインは
ふ卵12日目まで

胚発生写真の出典：農研機構 畜産研究部門

2. 卵内雌雄鑑別の現状 <世界の技術>

HITACHI



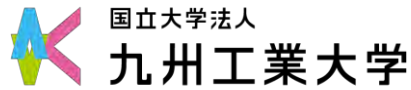
2. 卵内雌雄鑑別の現状 <2026年発表の技術>

HITACHI

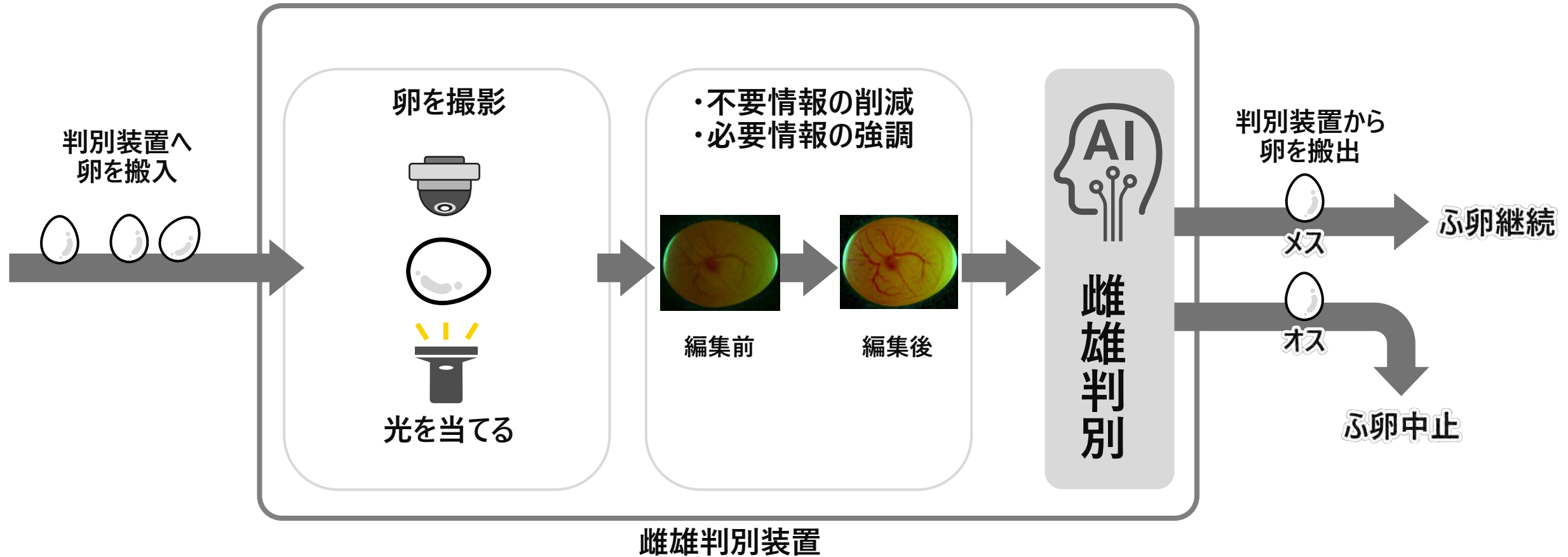


2. 卵内雌雄鑑別の現状 <2026年発表の技術>

HITACHI



HITACHI



「卵に穴を開けずAIで雌雄鑑別する」技術で特許登録済

2. 卵内雌雄鑑別の現状 < 実用化途上 >

HITACHI

実用化されている卵内雌雄鑑別はEUの技術のみ

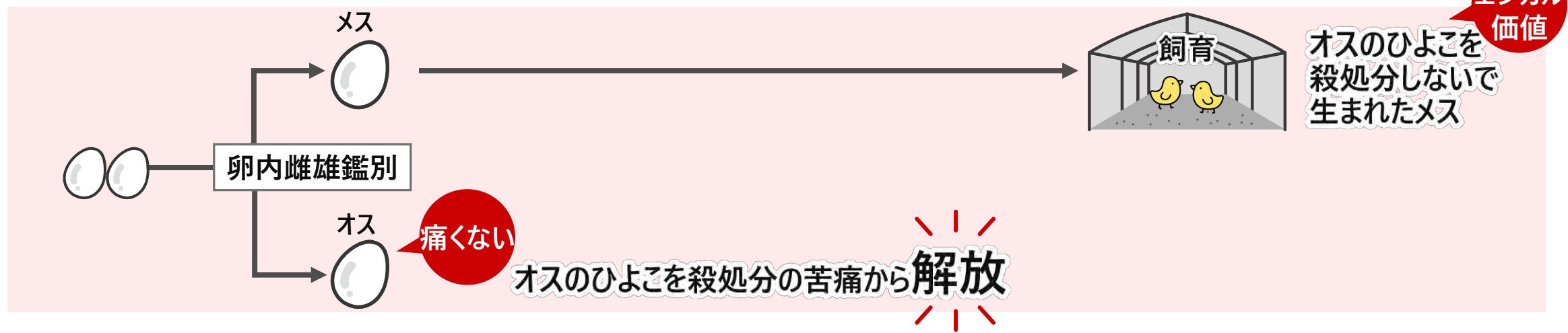


3. 導入効果 <マーケット観点>

卵内雌雄鑑別導入前



卵内雌雄鑑別導入後



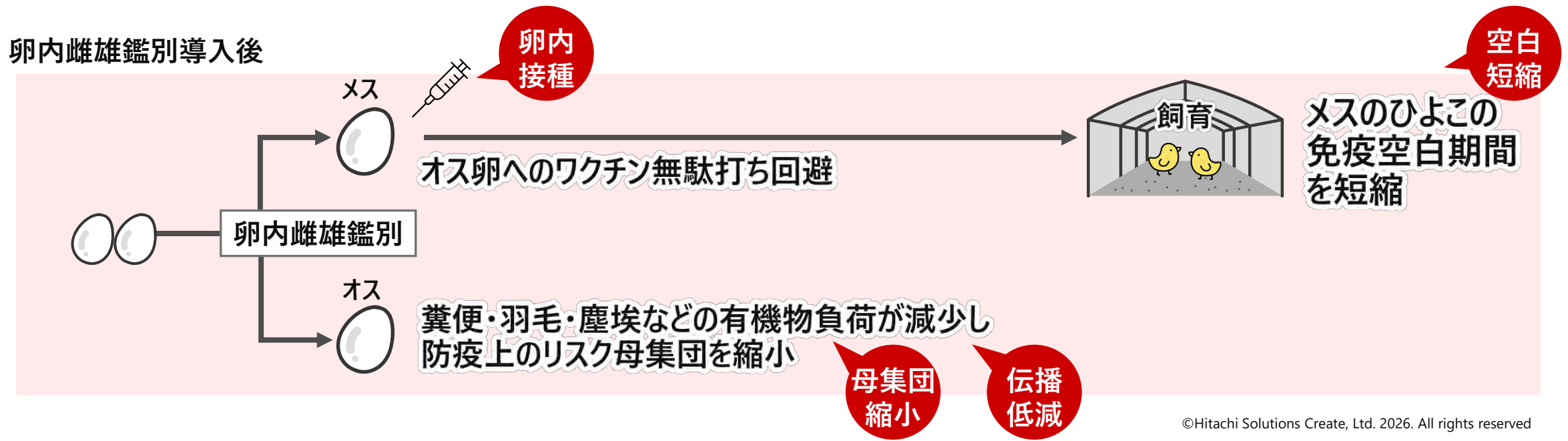
3. 導入効果 <動物衛生観点>

HITACHI

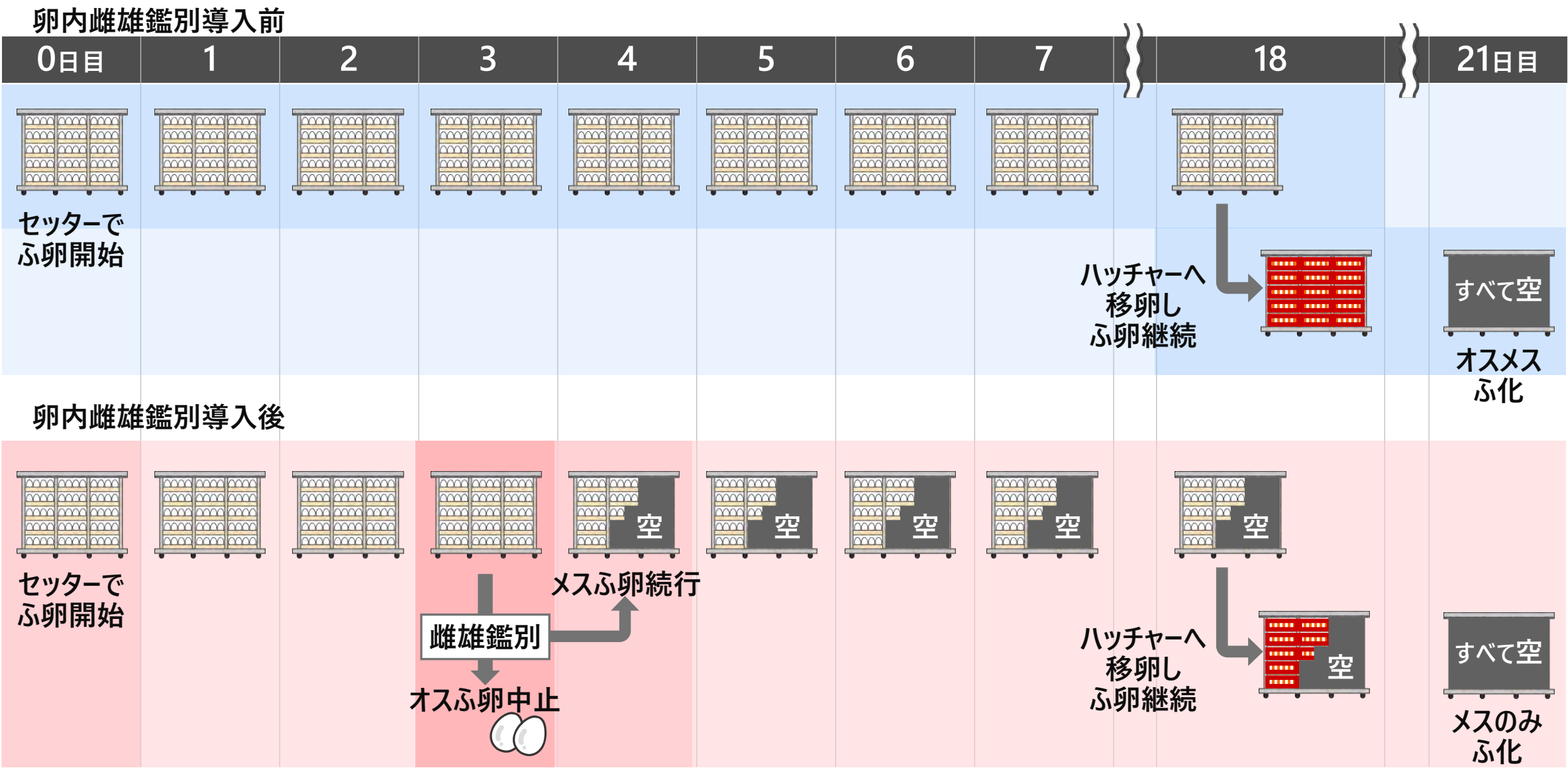
卵内雌雄鑑別導入前



卵内雌雄鑑別導入後



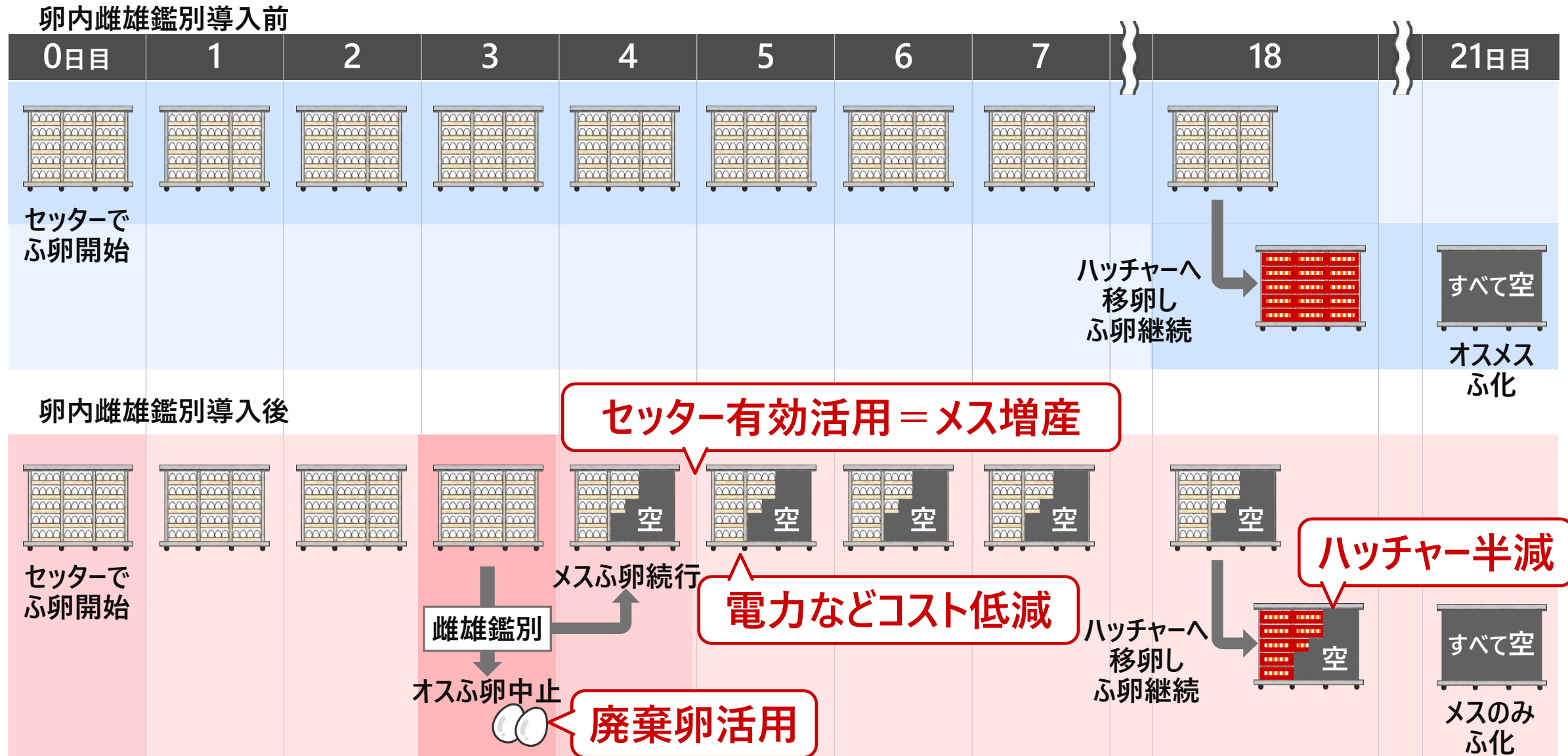
3. 導入効果 <生産現場観点>



3. 導入効果

<生産現場観点>

HITACHI



4. 乞うご期待

HITACHI



日本発の雌雄鑑別技術の実用化に向け、乞うご期待

※各技術、および鑑別日：(当社)調べ。各社HPや各種記事など公表されている技術情報、および独自調査による